

2019年3月期 第2四半期決算 事業方針と今後の取り組みについて

2018年11月9日 住友林業株式会社

代表取締役 社長 市川 晃

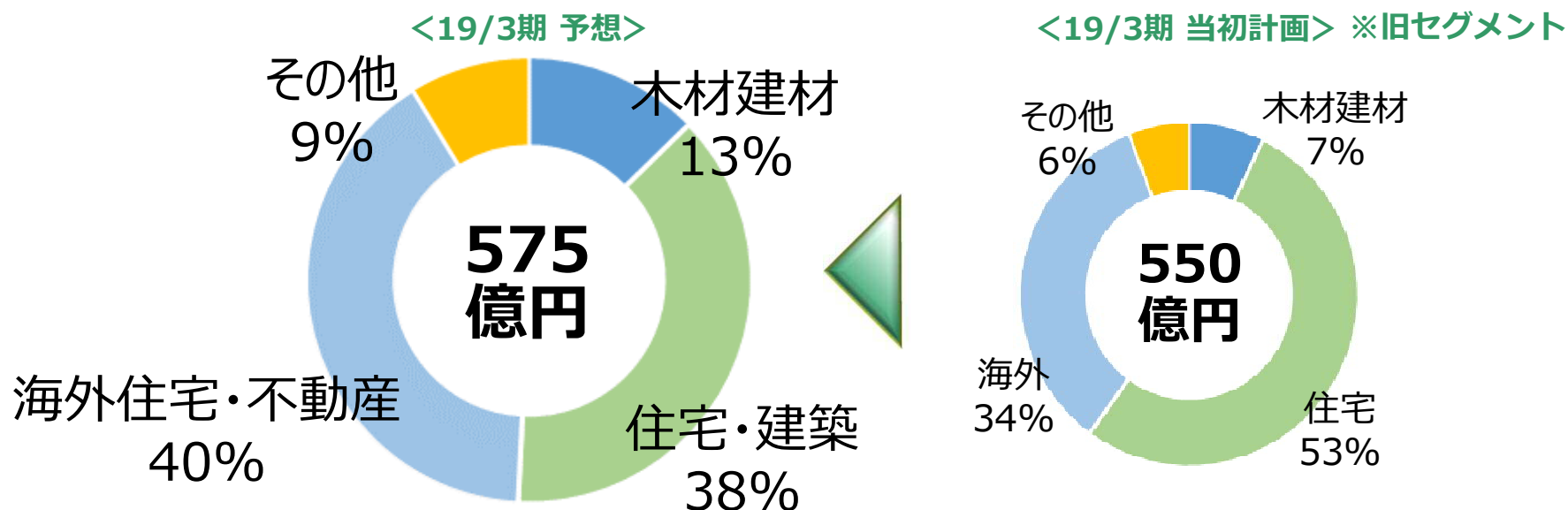


1. 中期経営計画の進捗	2ページ
2. 市場環境	3ページ
3. 目指す方向性	
・住宅・建築事業	5ページ
・海外住宅・不動産事業	8ページ
4. SDGs	11ページ
5. 投資の状況	12ページ
6. 株主還元	13ページ

<2019/3期予想と当初計画との比較>

目標4項目	19/3期予想	19/3期 中期経営計画
売上高	1兆3,100億円	1兆1,700億円
経常利益	575億円	550億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	315億円	315億円
ROE（自己資本利益率）	10.0%	10%以上

<セグメント別経常利益構成比の比較>



<国内>

新設住宅着工統計は弱含みで推移。

19年10月 消費税増税（8%→10%）が実施予定。
住宅市場には一定の駆け込み需要発生を想定。

政府による増税影響軽減策の検討

《住宅関連》

- ・住宅ローン減税の拡充や期間の延長
- ・ポイント還元
- ・すまい給付金の拡充
- ・リフォーム費用の一部助成制度 等

<海外>

上期の世界経済は総じて堅調に推移。

<米国>

- ・政策金利の上昇
- ・中国との貿易摩擦

⇒先行き不透明感

- ・住宅ローン金利の先高感
- ・アフォーダビリティの低下

⇒懸念材料として留意

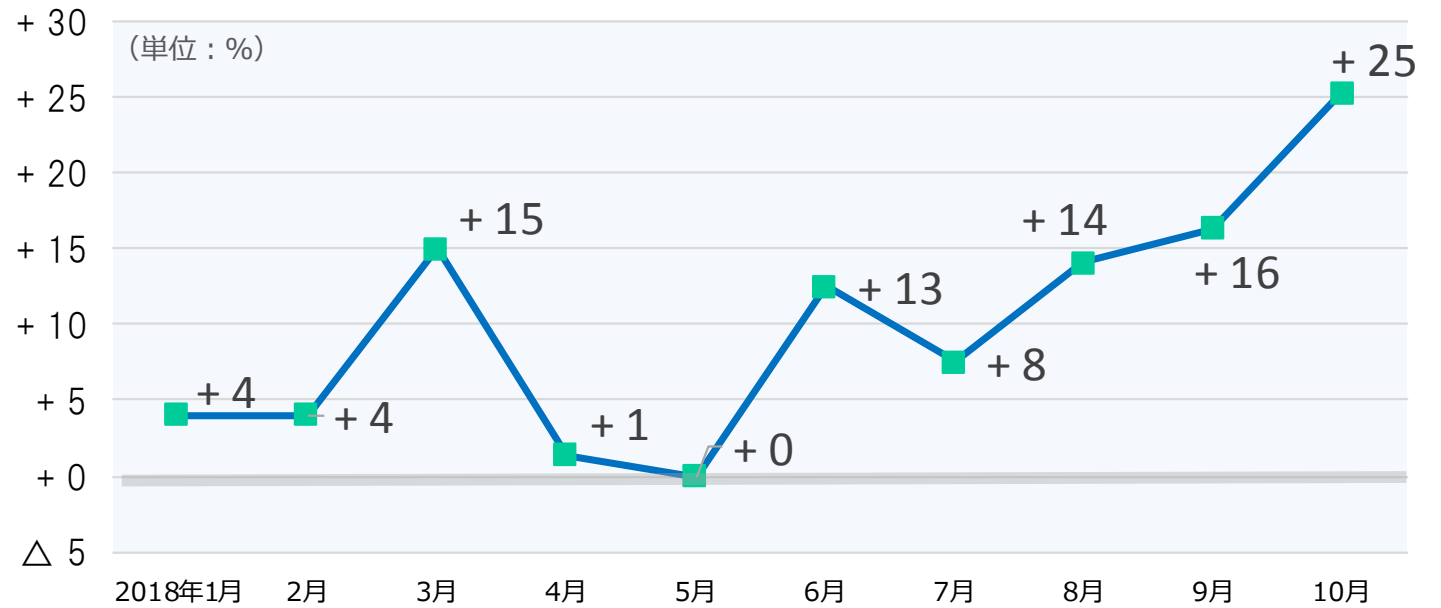
<豪州>

- ・市場は価格調整局面。
- ・人口増加を背景に中長期的には安定性が高い。

戸建注文住宅受注の前年同月比推移

(単位：%)

	前年同月比
2018年1月	+ 4
2月	+ 4
3月	+ 15
4月	+ 1
5月	+ 0
6月	+ 13
7月	+ 8
8月	+ 14
9月	+ 16
10月	+ 25



The Forest BF リニューアル

デザイン力	外観	新しい技術で水平ラインを強調するモダンな外観
	内装	15樹種の自然な風合いを活かした多彩な表情の室内空間
提案力	四季を楽しむ設計	自然を感じ、日本の良さを感じる豊かな暮らしを提案する設計力



成長ビジョン

賃貸住宅、
リフォーム、
非住宅の伸張

年間9,000棟
レベルの
販売維持



縮小が見込まれる市場においても全体として成長を目指す

成長ビジョン



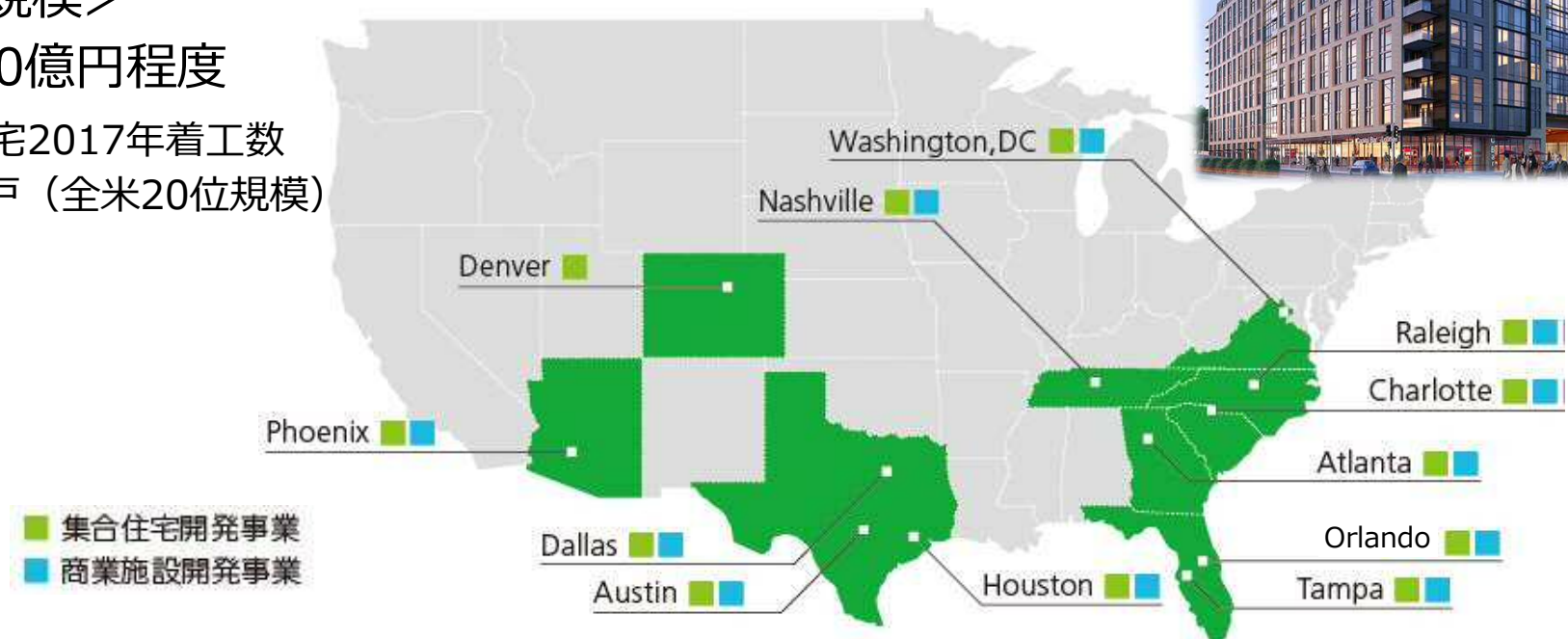
クレセント社について

1904年創業の電力会社デューク・エナジー社の
林業部門会社が起源

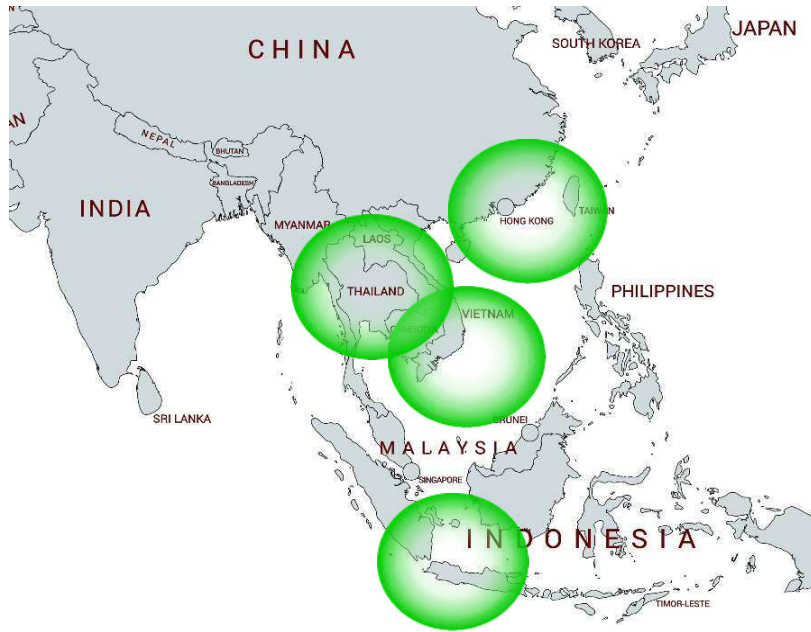
＜事業内容＞
集合住宅、複合商業施設等の開発

＜売上規模＞
年間300億円程度

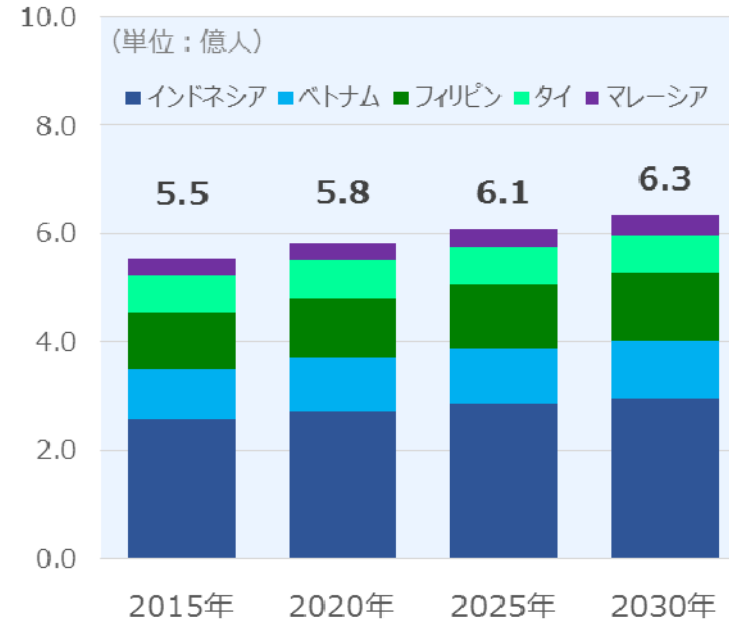
※集合住宅2017年着工数
2,164戸（全米20位規模）



東南アジアでの取り組み



<東南アジアの人口推移 (推計)>



出典：国連「World Population Prospects: The 2017 Revision (中位推計)」



タイ (バンコク)



ベトナム (ホーチミン)



インドネシア (ジャカルタ郊外)



私たちの根幹にある「住友の事業精神」には、
ESGやCSRそしてSDGsと通ずる理念が込められている。
これからも木の資産価値を高め、
事業を通じて課題解決に取り組んでいく。

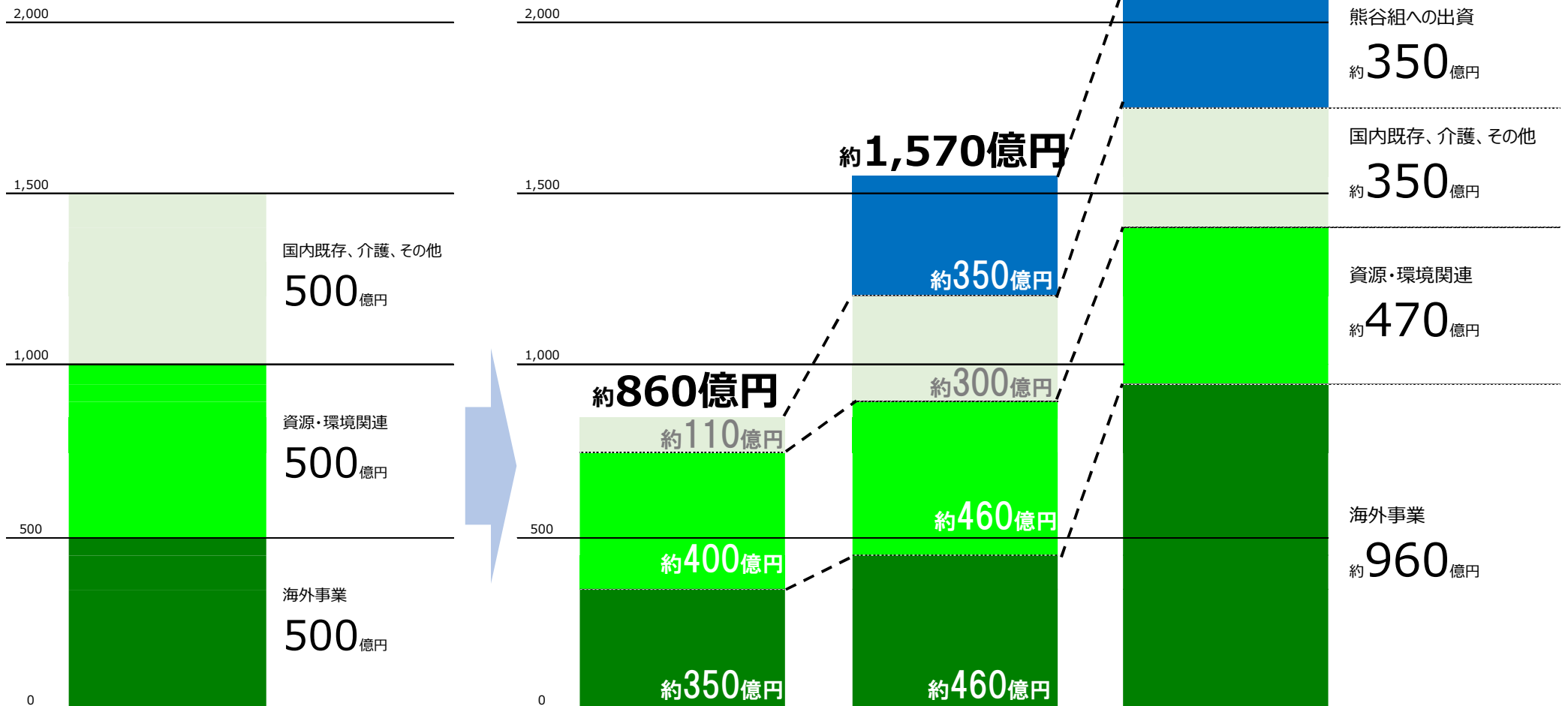
中期経営計画 3年間合計1,500億円

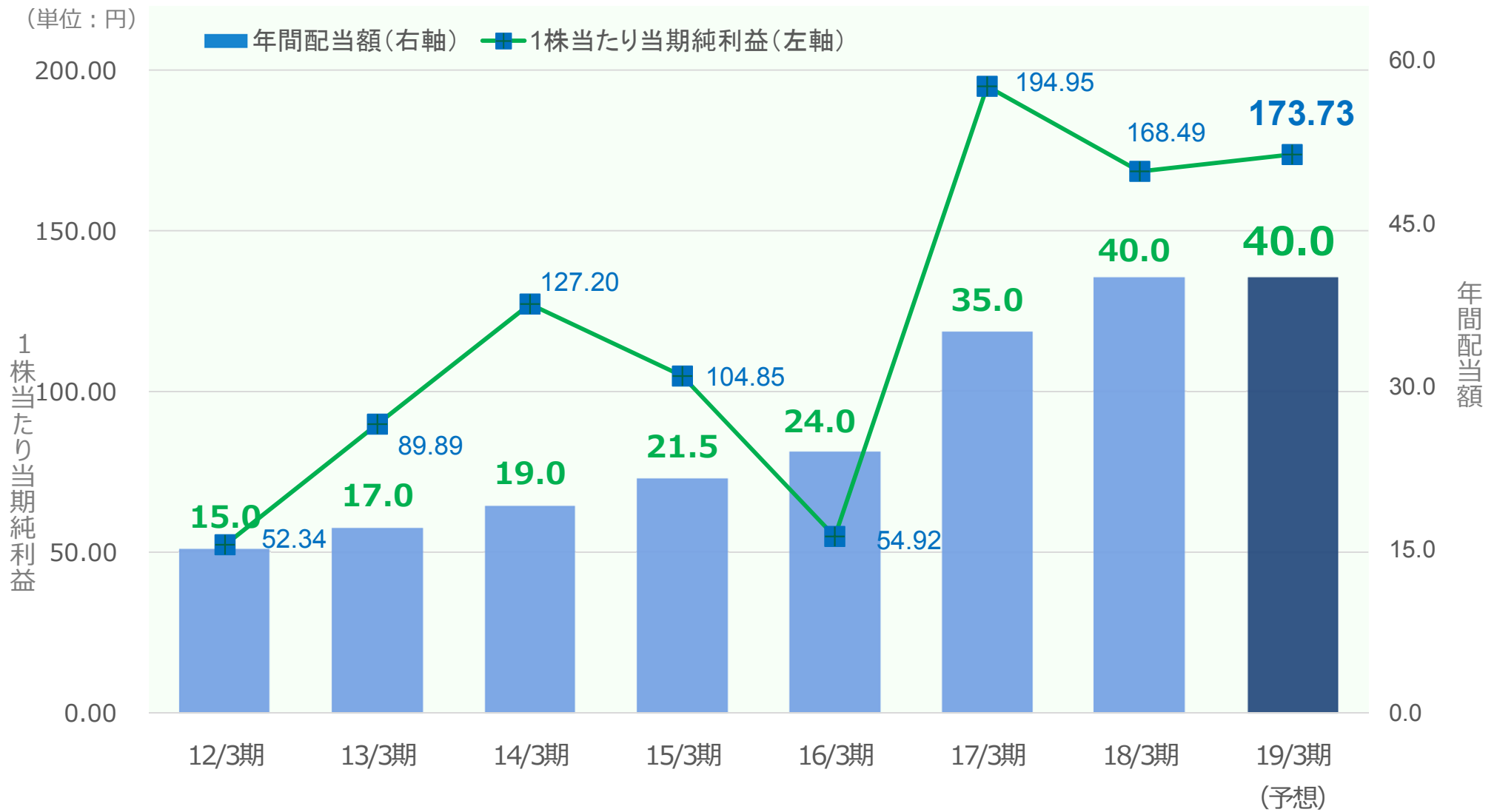
17/3期

18/3期時点

19/3期上期時点

(累計)





基本方針：継続的かつ安定的な配当

木と生きる幸福

住友林業グループ

ご清聴ありがとうございました。